

普及情報

分類名〔草地飼料〕

## 飼料用トウモロコシ奨励品種「クミアイデント113」「ゴールドデントKD640」

畜産試験場

### 1 取り上げた理由

市販されている飼料用トウモロコシの中から、畜産試験場において検定を行った結果、成績優秀であった品種を奨励品種とする。

### 2 普及情報

#### 1) クミアイデント113 (XE8915 全農)

- ・当試験場におけるRM(出芽から黄熟期までの日数)は123日となった(メーカーRMは113日)。早晚性は中生である。
- ・長稈で稈径が太く、耐倒伏性及び耐折損性に優れる。(表1)
- ・耐病性は標準品種とほぼ同程度。(表2)
- ・一日当たりの乾物収量が多く、収量性に優れる。(図1)
- ・乾物中に占める雌穂割合が高く、栄養収量にも優れる。

#### 2) ゴールドデントKD640 (KD640 カネコ)

- ・当試験場におけるRMは120日となった(メーカーRMは114日)。早晚性は中生である。
- ・長稈で稈径が太く、耐倒伏性に優れる。(表1)
- ・すす紋病、ごま葉枯病、紋枯病の耐病性は標準品種と同程度であるが、やや根腐病に弱い。(表2)
- ・収量性に優れ、乾物中に占める雌穂割合が高く、栄養収量にも優れる。(図1)

### 3 利活用の留意点

- 1) 密植栽培により、ごま葉枯病、すす紋病、紋枯病の発生増加、稈径が細くなることによる倒伏の増加につながるため、クミアイデント113、ゴールドデントKD640ともに栽植密度は10a当り7000本以下とした方がよい。
- 2) その他は、従来品種と同様である。

### 4 背景となった主要な試験研究

#### 1) 研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 (1)飼料用トウモロコシ(昭和57年～)

#### 2) 参考データ

(問い合わせ先：宮城県畜産試験場 草地飼料部 電話 0229-72-3101)

平成16年4月作成

表1 生育特性

品種名	発芽 良否 (1-9) <sup>(注1)</sup>	初期 生育 (1-9) <sup>(注1)</sup>	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	稈径 (mm)	倒伏 割合 (%)	折損 割合 (%)
クミアイvent113	8.7	5.9	278	126	15.4	0.0	0.8
ゴールドデントKD640	8.6	6.1	287	127	15.4	0.0	2.9
バイオニア115(標準)	8.4	5.4	259	135	14.0	0.0	1.6

(注1)発芽の良否,初期生育は極良を9,中を5,極不良を1とする評点法。

表2 病害程度

品種名	ごま葉枯病 (1-9) <sup>(注1)</sup>	すす紋病 (1-9)	黒穂病 (%) <sup>(注2)</sup>	根腐病 (%)	紋枯病 (%)
クミアイvent113	2.4	3.0	0.2	2.9	4.5
ゴールドデントKD640	2.5	3.3	0.4	4.7	4.5
バイオニア115日(標準)	3.7	2.3	0.0	1.8	4.9

(注1)被害程度と被害面積に応じて無を1,甚を9とする。

(注2)罹病個体の全個体に対する割合。

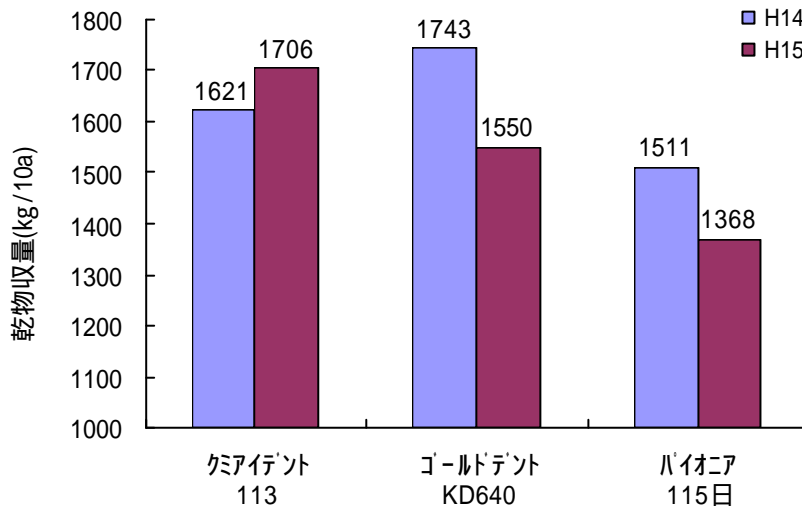


図1 平成14, 15年度の乾物収量

東北6県で実施している牧草・飼料作物優良品種選定ネットワークの内,宮城県の隣接県である岩手県,山形県,福島県における標準品種対比を表3に示す。

表3 平成14, 15年度の岩手県,宮城県,山形県,福島県における乾物収量標準品種対比

品種名		岩手県	宮城県	山形県	福島県
クミアイvent113	平成14年	104	107	102	135
	平成15年	97	124	108	99
ゴールドデントKD640	平成14年	105	115	105	141
	平成15年	97	113	101	111

標準品種(バイオニア115日)の乾物収量を100とする。